

学習院

中等科 高等科

2023年度

学校案内





集い 出会い 研き合い

学習院中等科・高等科 科長

高城彰吾

学習院は歴史ある学校で、弘化4年(1847年)、京都に開かれました。明治10年(1877年)、東京・神田錦町に改めて開設され、150年近くの歳月を経て社会のリーダーを輩出して来ました。今日、学習院は幼稚園から大学院までの学齢に応じ、その時期に身に付けるべき素養と社会に貢献する多様な個性を、一貫した理念に基づいて育てています。その理念は、「ひろい視野 たくましい創造力 ゆたかな感受性」という3つの言葉に集約され、学習院の教育を表現するものとして関係者の間で折に触れ語られています。

中等科・高等科は人格の幹を作る大切な時期を担っています。毎日の生活の中、勉強はもちろん部活動・委員会活動などを通して、多くのことを学ぶことになります。大勢の仲間が集う場で、同年代であっても一人ひとりが異なる考え方を持っていることに気づくでしょう。皆さんは自分と異なる人たちの存在に気づき、それまで持ちえなかった知識に触れることで「ひろい視野」の大切さを知ることになると思います。そして友人や先輩・後輩、先生との交流などを通して、皆さんは強い刺激を受けることでしょう。新たな知識に対して、はじめは自分なりの考えに基づいて受け容れようとするものですが、やがてそれまでの自分では感じ取ることのできなかつた見方や考え方に気づく時が来ます。新しい出会いから得られるさまざまな知識と経験を受け容れるなかで「ゆたかな感受性」が育てられていくのです。さらに、このようにして自分のものとした知識・考え方を基にして、ここに集い出会った個性豊かな仲間たちと共に「たくましい創造力」をもって、それまでなかつた新しい主張を創り出してゆくことが望まれています。他者と出会い自分と向き合う機会を重ねて、自分とは何者なのかを深く考え個性を研き合うなかで、将来につながる何かにきっと出会うことでしょう。中等科・高等科で学んだものを糧として、その後はより専門的な知識・技能を身に付け、さらには社会の各方面に進んで、大いに活躍して欲しいと思います。

近年のコロナ禍で、本校でも時期によっては休校となったり授業がリモートで行われるなど、生徒が登校できない期間がありました。その状況は、主役のいない舞台のごとく寂しいものであったことは言うまでもありません。この経験によって私たちは、なにげなく感じていた対面でのコミュニケーションの大切さについて、改めて考えさせられています。仮に一時的に対面活動が制限されたとしても、学校は生徒が集い、出会い、研き合う場であることに変わりありません。厳しい状況の中でも工夫を積み重ね、多くを学び合い、共に3つの言葉を実践して行こうではありませんか。

CONTENTS

教育理念 ● P2
中等科・高等科 科長の言葉

アクセス・歴史・伝統 ● P3-5
中等科・高等科沿革

教育方針 ● P6-7
中等科の教育目標・高等科の教育目標

学校施設 ● P8-9

カリキュラム ● P10-13
教育の特色／教育課程(時間数)／選択別時間割例

学校生活 ● P14-17
中等科・高等科主な年間行事／課外活動(運動部・文化部・同好会)

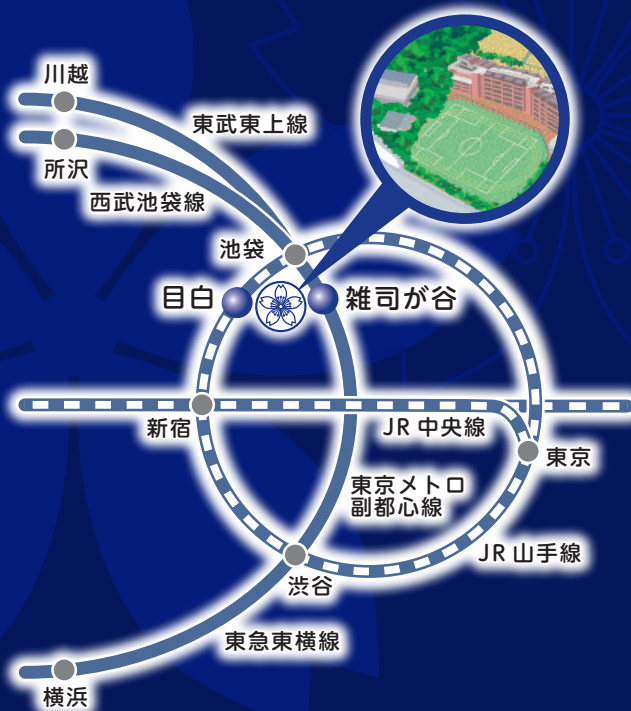
国際交流 ● P18-19

進学 ● P20-21
中等科・高等科の進学状況

連携・Q&A ● P22-23
生徒と教職員と家庭の連携／学習院Q&A

INFORMATION 2023年度 ● P24-25
2023年度学校説明会など／中等科・高等科のホームページ

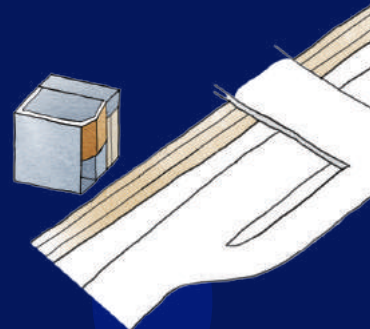
利便性のよい都心にありながら、 豊かな緑に囲まれたキャンパスです。



最寄駅からのアクセス

JR山手線
「目白」駅より 徒歩5分

東京メトロ副都心線
「雑司が谷」駅より 徒歩5分



学習院中・高等科沿革

1900年

1847年(弘化4年)
京都御所日御門前に
学習院開講する

1849年(嘉永2年)
孝明天皇より「学習院」の勅額が
下賜され、正式名称となる

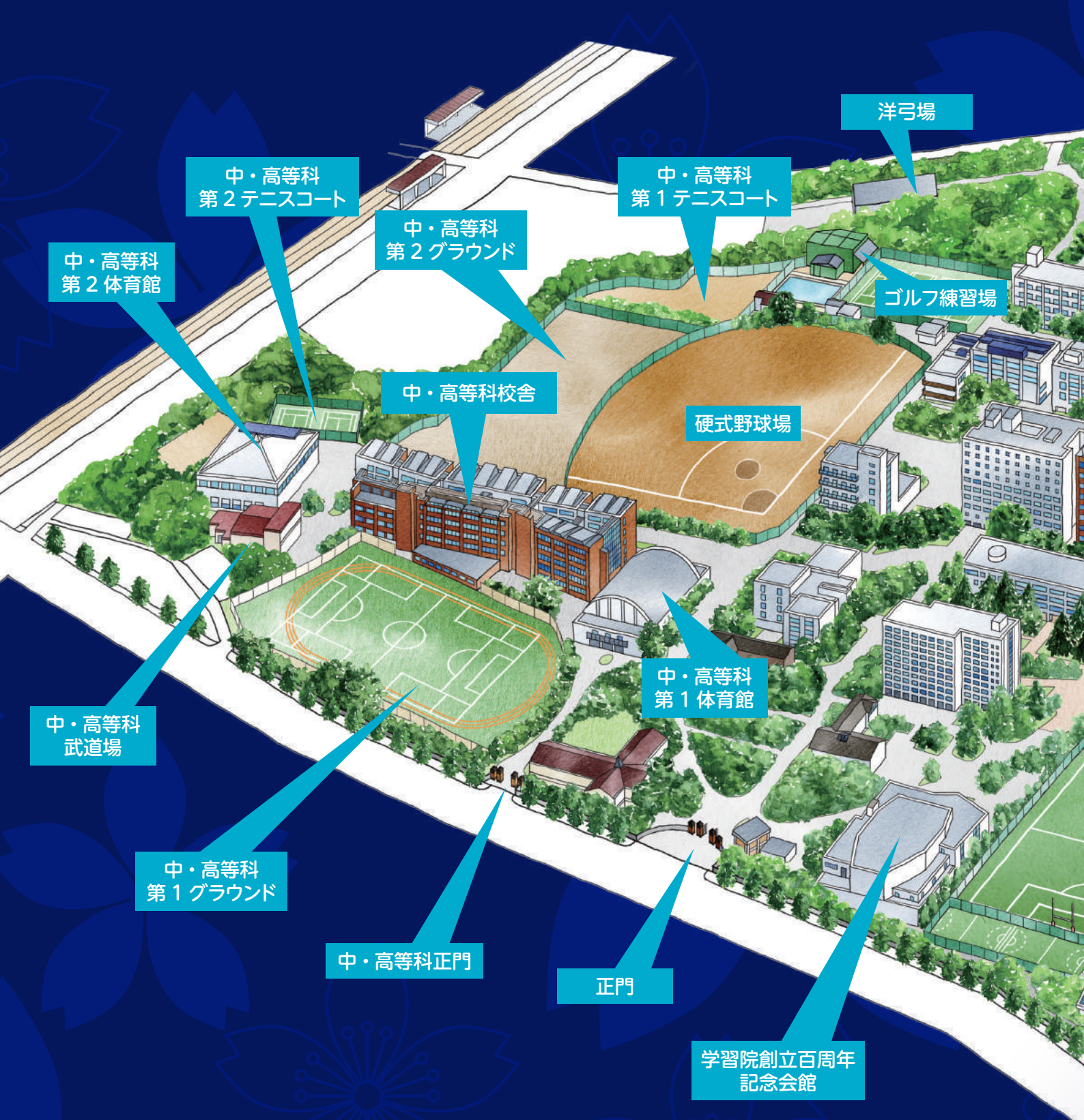
1877年(明治10年)
神田錦町に私立の華族学校が創立される
10月17日に明治天皇・皇后両陛下親臨のもと開業式が行われる
勅諭により「学習院」の名称が定まり、後に勅額が再び下賜される
現在の学習院はこの時をもって創立としている

1885年(明治18年)
男子のみの教育を行うこと
となる(前年華族子女のため
の官立学校が新たに創
立されることになったため)

1884年(明治17年)
宮内省所轄の官立学校となる

1919年(大正8年)
初等学科、中等学
科という名称
使っている「初等
科」、「高等科」に

194
財団
合体
新制



2000年

<p>1946年(昭和21年) 学科、高等科、高等科から現在科]、「中等科」になる</p>	<p>1946年(昭和21年) 宮内省から離れて私立学校となることを決定 中等科は戦災のため目白を離れ、1、2年生が 小金井に移る</p>	<p>1951年(昭和26年) 学校法人学習院となる</p>	<p>1998年(平成10年) 中等科・高等科の新校舎が完成する</p>
<p>1977年(昭和52年) 法人学習院による新しい経営が始まり、学習院と女子学習院は して一つの私立学校となる の中等科・女子中等科を開設し、初等科は男女共学を実施する</p>	<p>1977年(昭和52年) 明治10年より数えて創立100周年を迎える</p>	<p>1948年(昭和23年) 新制の高等科・女子高等科を開設する</p>	<p>2000年(平成12年) 中等科・高等科1クラス40名の5クラス体制が整う</p>
		<p>1978年(昭和53年) 学習院創立百周年記念式典を挙げる</p>	

馬場



西門

伝統の中でおおらかに
さまざまな自分の可能性をみつけ、
豊かな個性を育むことができます。
考える、
また考える、さらに考える
充実した教育環境の中で自身の考えを
深めていくことができます。
生涯の友と
のびのびとした学校生活をおくる中で、
行事やクラブ活動を通して多くの友だちを
つくることができます。

2010年(平成22年)

第1回中等科ニューゼaland短期研修
が行われる

2004年(平成16年)

第1グラウンドが人工芝化される

2002年(平成14年)

明治10年より数えて創立125周年を迎える
学習院創立百二十五周年記念式典を挙げる

教育方針

中等科の教育目標・高等科の教育目標

学習院全体の大きな教育目標は、「ひろい視野」「たくましい創造力」「ゆたかな感受性」の実現です。幼稚園から大学まで、それぞれの教育課程にあわせて、その目標実現に努力しています。



中等科の教育目標

中等科では、義務教育の過程にあって私学としての特色を出そうとしています。それはそれぞれの個性の芽を見出し、育て、開花の準備をさせることです。人はそれぞれの違った個性を持っています。しかしながら義務教育の過程において自分の個性を見つけるのはなかなか難しいものです。中等科では生徒一人ひとりに個性の芽を見つけ、育て、開花の手伝いをすることにその目標を置いています。それは授業だけにとどまりません。学校行事、学年行事などの校外学習や部活動を含め学校生活全般に細かい目が行き届いています。

学習面では高等教育を見据え、基礎学力の充実に力を注いでいます。基礎学力とは、単なる基礎的な知識ではありません。すべての学問の基礎となる学力のことです。そのために英語、数学においては分割授業の時間を設け、より一層きめの細かい授業を心がけています。理科においては、単なる理科の授業ではなく、物理、化学、生物、地学、それぞれの専門の教員が、専用の施設で実験を重視した授業を展開しています。

また、豊富な運動施設を使って、色々なスポーツに取り組み、全面的な体力、技能の向上を図っています。

個性の芽を育む教育、それが中等科の教育です。



制服

海軍尉官の服装がモデルとなり、1879年(明治12年)に制服が定められました。日本で学生の制服を定めたのは学習院が最初です。現在では、帽子の着用は自由化されています。

高等科の教育目標

高等科は義務教育を終えた生徒たちの集まりの場です。また、様々な目標を持った生徒たちが集まる場でもあります。そうした中であって、高等科の教育とは何かと言えば、学習院全体の三つの大きな目標の下、大いなる個性の開花に取り組む環境づくりです。中学生時代に芽生えた個性、可能性の芽を存分に発揮できる環境の実現に取り組んでいます。

学習面では、生徒のより多方面への興味・関心に対応した選択科目を多く配し、その要求に応えるようにしています。そこでは大学のゼミにも劣らないアカデ

ミックな授業の展開があります。

密度を濃くするために少人数の教育も取り入れ、生徒の学習意欲に応じてより高度な授業が行われています。その中で、教員と生徒との直接の触れ合いがより緊密なものになっています。

外国語は英語のほか、ドイツ語、フランス語、中国語をそろえ、生徒が国際舞台に羽ばたける基礎を充分養えるようになっていきます。また、情報教育や総合的な探究の時間では生徒が自分の個性をますます発揮できるように工夫されています。

学校施設

学ぶための全てが揃っています

学習院ではゆとりのある敷地を生かし、学校生活に必要なあらゆる施設を用意しています。生徒一人ひとりの学ぶ心、探究する心を満たし、また伸ばす事に力をそそぎます。





10



11



12



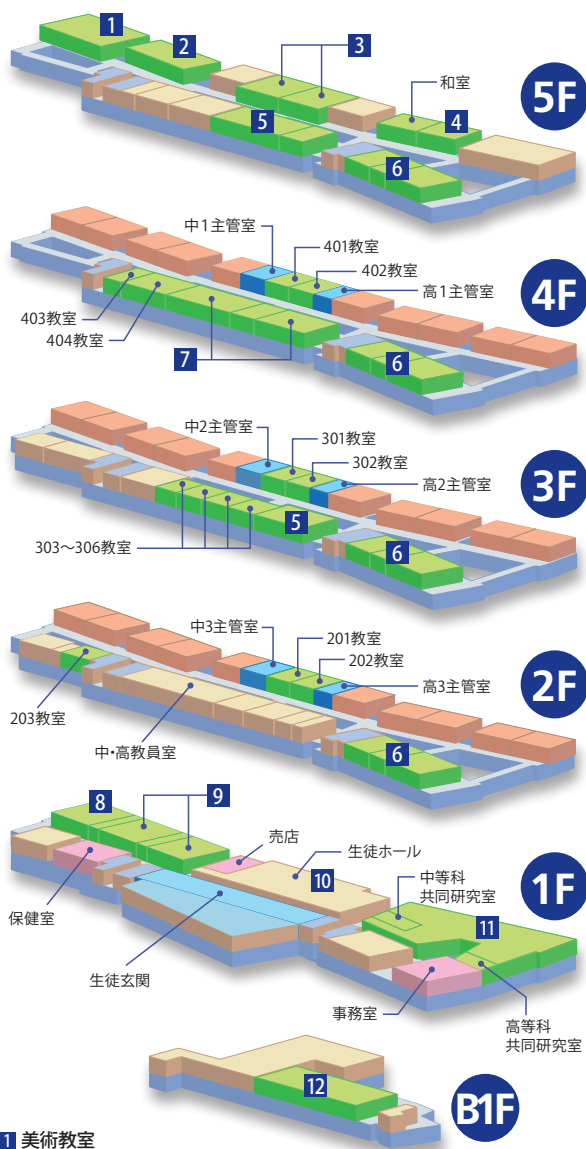
13



14



15

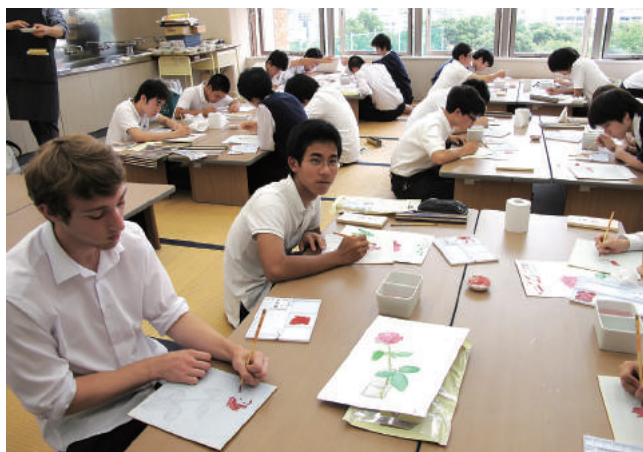


- 1** 美術教室
- 2** 音楽教室
- 3** 501教室／502教室
大型スクリーンと各種AV機器を備えた多目的教室です。200名以上を収容できます。
- 4** 503教室
中等科の習字と高等科の書道の授業で使用します。
- 5** 技術・家庭教室
- 6** 理科教室
物理、化学、生物、地学、それぞれの科目に実験室と講義室が備わり、合計8室の理科教室があります。
- 7** 社会科教室1／2
大型スクリーン・電子黒板と各種AV機器を備えています。
- 8** マルチメディア教室
LL機能とコンピューターを兼ね備えています。
- 9** コンピューター教室A／B
それぞれの教室に生徒個人用44台を配置しています。
- 10** 生徒ホール(食堂)
250席の食券制食堂。中学1年から利用可能です。
他にも飲み物、パン、おにぎり等の自販機あり。
- 11** 図書室
約11万冊の蔵書を誇る図書室です。雑誌・CD・DVDも充実しています。
- 12** 標本保管室
約8千点の標本があり、理科の授業で利用しています。
- 13** 第1体育館／第2体育館
2つの体育館があります。第1体育館の2階はウェイトトレーニング場になっています。第2体育館の1階は温水プール(25m・6コース)、2階は体育館です。
- 14** 武道場
柔道公式試合場1面約70畳、2階は中等科運動部部室になっています。
- 15** 第1グラウンド／第2グラウンド
第1グラウンドは300mトラックがとれる人工芝のグラウンド、第2グラウンドは土のグラウンドです。

カリキュラム

教育の特色／教育課程(時間数)／選択別時間割例

教員は、生徒の進学はもちろん、将来の国際的な活躍の可能性まで見据えて、一人ひとりをきめ細かく指導し、あらゆる活動を通じ多くの生徒に接し、生徒を知ることがを心がけています。



中・高一貫の教育

教員組織は中等科と高等科で分かれています。授業内容、指導については各教科で連絡を細やかに取り合い、組織間でスムーズな連携ができるように努めています。

中等科では、どの教科も基本的には検定教科書を使用しています。そのほか中等科独自で編纂されたテキスト(国語、数学)、英米で出版されたテキスト・DVD

(英語)、手作りプリント、資料集、問題集などにより、意識した先取り教育は行いませんが、自然な形で高校の授業内容に踏み込んだものとなっています。

少人数教育

数学では各学年週2~3時間、英語では各学年週4~5時間を1クラス二分割の少人数で授業を行っています。さらに英会話では20名前後の少人数クラスを外国人と



日本人の二人の教員が担当しています。数学は3年で、英語は全学年で習熟度別分割を行っています。

高等科では、各教員がその個性を発揮して、教科書の枠にとらわれず、高度な授業が展開されています。英語、数学では各学年で1クラス二分割の少人数授業を行います。また2・3年では、少人数の豊富な選択科目が用意されています。特に2年の総合選択は、教科書を越えた多彩な講座が開かれています(12・13ページ表参照)。

● 2022年度 中等科・高等科生徒数 2022年4月現在

		中等科		高等科	
		クラス	人数	クラス	人数
学年	1年	5	202	5	202
	2年	5	198	5	205
	3年	5	197	5	191
合計		15	597	15	598

※高等科1、2年生には、2022年4月現在留学中の生徒を、出国時の学年に含めています。

教育課程（時間数）

	5		10		15		20		25		30		34		
中1	国語 読解・表現 習字		社会 地理 歴史		数学 代数 幾何		理科 物理 化学 生物 地学		英語 リーダー・会話・LL		音楽	美術	技術・家庭	保健体育	道徳
中2	国語 読解・表現・基礎能力		社会 地理 歴史		数学 代数 幾何		理科 物理 化学 生物 地学		英語 リーダー・会話・演習・LL		音楽	美術	技術・家庭	保健体育	道徳
中3	国語 読解・表現・基礎能力		社会 歴史 公民		数学 代数 幾何		理科 物理 化学 生物 地学		英語 リーダー・会話・演習・選択		音楽	美術	技術・家庭	保健体育	道徳
注 高1	国語 現代の国語 言語文化		社会 地理総合 世界史・総合		数学 数学共通 数学β		理科 物理・化学・生物・地学		英語		情報	家庭	保健体育	HR	
高2	国語 現代文 古文・漢文		社会 日本史		数学α 必修選択 B	理科 選択 C	必修選択 D	英語		芸術 選択 芸術1	総合 選択	保健体育	HR		
高3	国語 現代文 古文・漢文		社会 倫理 政経		数学α 必修選択 E (2科目)	理科 選択 F	必修選択 E	英語		自由選択	保健体育	HR			

注：2022年度の高1から順次、新教育課程に移行中です。

※高等科2年の総合選択は、この他に1単位分設けられています。
※高等科3年は、選択科目数によって履修・修得単位数が変わります。

● 高等科2・3年《選択科目》

選択B	選択C	選択D	選択E				選択F	自由選択	芸術1
地理1	物理1	古文1	地理1	古文2	地学2-2	英会話1	※理科(物理・化学・生物・地学)2-2を履修する者のみ	芸術1 芸術2 体育1 選択E, F	書道 音楽 日本画 西洋画 工芸
日本史1	化学1	漢文1	地理2	漢文2	数学演習1a	英語2a			
世界史1a	生物1	中国語1	日本史1	小論文1	数学演習1b	英語2b			
世界史1b	地学1	独語1	日本史2	物理1	情報2				
選択C		仏語1	世界史1a	物理2-2	中国語1				
		英語1a	世界史1b	化学1	中国語2				
		英語1b	倫理1	化学2-2	独語1				
		情報1	政経1	生物1	独語2				
		選択B, C	社会科演習1	生物2-2	仏語1				
から1	から1	から1	古文1	地学1	仏語2	から1~3	から0~3	から0~2	から1



選択別時間割例

●中等科 1年生の時間割例(1学期)

中1	月	火	水	木	金	土
1	国語	英語 R	地理	家庭	生物	技術
2	幾何	物理	国語	保健体育	保健体育	地学
3	国語	代数	物理	代数	幾何	習字
4	保健体育(水泳)	歴史	国語	道徳(HR)	化学	地理
5	英語 R / 会話	美術*	英語 R	国語	会話 / 英語 R	
6	音楽	美術	代数	英語 LL	歴史	

*2・3学期は、美術の授業1時間が音楽の授業に変更になります。

●高等科 3年生(社会科学・人文科学系志望者)の時間割例

高3	月	火	水	木	金	土
1	保健体育	数学Ⅱ・B	数学Ⅱ・B	日本史 2	古文	古文
2		現代文	英語		英語	漢文
3	英語	英語	英会話	倫理	保健体育	倫理
4	HR	政治経済	英会話	政治経済		英語
5	数学演習	小論文演習	フランス語 2	数学Ⅱ・B	現代文	
6			現代文	現代文	英語	

●高等科 3年生(理工・医歯薬系志望者)の時間割例

高3	月	火	水	木	金	土
1	保健体育	数学Ⅲ(微分)	数学Ⅲ(微分)	数学Ⅲ(積分)	古文	古文
2		現代文	英語	数学Ⅲ(曲線)	英語	漢文
3	英語	英語	化学 2-2	倫理	保健体育	倫理
4	HR	政治経済	化学 2-2	政治経済		英語
5	数学Ⅲ(積分)	物理 2-1	物理 2-2	数学Ⅲ(微分)	現代文	
6	数学Ⅲ(曲線)	化学 2-1	物理 2-2	現代文	英語	

■ 高等科選択授業
(高等科2・3年で実施。月5・6時限、火5・6時限、水3・4・5・6時限、木1・2時限)

■ 少人数クラス編成授業
(中等科・高等科とも数学と英語で実施)

高等科 総合選択科目 講座一覧 2022年度

演劇入門
漢字の文化史
通史でない世界史「海から見た世界史」
自動車産業の現在、過去、未来
写真を撮る・見る
博物館を知ろう
生命科学入門
フランス文化入門
声に出して覚えるドイツ語
体脂肪を燃やそう
Critical Reading and Discussion
ハングルを学ぼう
理科系ライティング演習
国際協力入門

生徒の声

中等科 3年
生徒会長
山岡 海翔



学習院中等科は、2027年で創設から150年を迎える、とても長い歴史を持つ中高一貫の男子校です。本校の魅力は、非常に恵まれた環境で学校生活を送ることができるということです。都心からアクセスの良い場所に位置する、広大な目白キャンパスには、中等科だけでなく、幼稚園、高等科、大学があります。そのため、運動施設も充実していて、部活動や体育の授業で活用することができます。また、本校には個性豊かな約600人の生徒が在籍しています。そして、先生方も教育に熱心な方が多く、生徒一人ひとりの様子をよく見守ってくださいます。そういった意味でも環境に恵まれていると言えます。

本校は、中高一貫のため生徒のほとんどが学習院高等科に進学します。もちろん、定期テストが近い時期はしっかりと勉強する必要がありますが、そのほかでは高校受験へ向けた勉強をする必要はありません。ですから、放課後や長期休業期間を、部活動や、自らの興味のあることに取り組むことができ、中等科での3年間はとても楽しいものになるでしょう。

昨今は新型コロナウイルスの影響で、通常の学校生活からかけ離れたスケジュールで日々過ごしています。ですが、私たちが生徒たちと協力し、工夫して行事を行っていきたくと考えています。

生徒の声

高等科 3年
総務委員長
佐藤 龍之介



自分で改めてこの学習院高等科の特徴は何なのかと考えた時にやはり「自由すぎる」ということが思い浮かんできました。一見「自由すぎる」という言葉にはどこかマイナスのイメージを持つかもしれませんが決してそうではありません。それは好き勝手にどんなことをやっても許される自由ということではなく、「責任」あってこそその「自由」であると思います。

高校という場所で自由の幅は自分たちの行動で決まるという事を教えてくれる所は中々無いと思います。厳しい校則で生徒の自由を奪うのではなく、あえて自由すぎる環境で生徒自ら考えさせ行動させる。それはある意味高等科では生徒たちのことをただ一生徒として扱うのではなく、一人の大人として扱ってくれているのだと感じています。何が正しいのか、何をすべきなのかを一人の大人として自立して考え、それぞれの個性をぶつけ合いながら、互いに成長できる場所。それが学習院高等科という所なのだと思います。



学校生活

中等科・高等科の主な年間行事



5月
長距離歩行(3泊4日)
中等科2年
2日目と3日目にそれぞれ約20kmの歩行を行います。班ごとに計画を立てて、富士山麓と河口湖畔を歩きます。自然散策をする中で、先生や友人と会話をし、交流を深める貴重な場ともなっています。

5月
遠足(中等科1年3年)



6月/3月
クラスマッチ
夏と春に1回ずつ、学年を越えて15クラス対抗で競技が行われます。優勝したクラスには、礼宮(あやのみや)文仁親王(現秋篠宮殿下)より寄贈された優勝杯(礼宮杯)が授与されます。

6月 芸術鑑賞会



沼津游泳場
沼津市島郷の海岸、沼津御用邸記念公園に隣接する白砂青松の林間に位置する、14棟3,000平方メートルの施設です。夏季には臨海教育施設として利用されるほか、大学のゼミなど年間を通して利用されています。

7月 沼津游泳(希望者参加/3泊4日)
静岡県沼津市にある学習院の宿泊施設を利用して毎年7月21日～24日に臨海学校を実施しています。1年生から3年生までを対象にした希望者参加の行事です。遠泳では、4km完泳を目指しています。



8月
東北自然体験(希望者参加/2泊3日)
岩手県の平庭高原で行われています。森づくり、炭焼き工場、カヌー・カヤック、シャワークライミングなどのプログラムを体験します。




9月 運動会
昭和26年に中等科を卒業された義宮(よしのみや)正仁親王(現 常陸宮殿下)より優勝杯が寄贈され、この義宮杯を争奪する形式で行われています。毎年、各チームの3年生が下級生に競技のルールや作戦などを指導していきます。



10月
林間学校(3泊4日)
中等科1年
1年生が入学して最初に行う宿泊行事です。赤城山登山を中心とした体験活動を行います。都会から離れた自然豊かななかで生活し、集団生活の大切さを学びます。

12月
OBと語る会



3月 スキー学校(希望者参加/4泊5日)
中等科1年2年
斑尾高原スキー場において毎年3月19日～23日に行われています。1年生と2年生を対象にした希望者参加行事です。宿泊人数に限りがあるため、毎年抽選となる人気の行事です。



10月
修学旅行(3泊4日)
中等科3年
学年ごとに生徒と教員で話し合いながら、行き先や内容を決めていきます。1年生から準備を始めている修学旅行は、中等科生活のなかで一番の思い出になります。

3月
ニュージーランド短期研修(希望者参加/9泊10日)
中等科2年

科 高等科

4月
April

5月
May

6月
June

7月
July

8月
August

9月
September

10月
October

11月
November

12月
December

1月
January

2月
February

3月
March

6月 観劇



6月
対筑波大附属高校定期戦
(附属戦)

筑波大附属高校との定期対抗戦です。その歴史は古く、日本最古の定期対抗戦と言われています。女子高等科と合同で、3校の各運動部が学校の名譽を懸けて激突！総合優勝は附属か？学習院か？一般生徒も応援団、チアガールと一体になって白熱する伝統の一戦です。



7月 ボート大会

高等科1年2年

埼玉県戸田オリンピックボートコースで、漕艇競技に挑戦する伝統行事。1・2年生の全員がオールを握って息を合わせます。高校の行事としては全国的にも珍しいものです。



10月 中・高等科鳳櫻祭(文化祭)

文化部の出番。有志団体も多数出展し、来場者で校内はいっぱい。アーチェリー部の風船割りや留学生による母国の紹介、バンドに吹奏楽に演劇など盛りだくさんです。



9月
沖縄研修旅行(3泊4日)
高等科2年

平和学習と自然体験を目的とした行事です。1年生から事前学習をしっかりと行います。

11月
院内大会(球技会)



12月 柔道納会(3年生クラス対抗)

柔道の世界的中心である講道館で行う、3年生クラス対抗行事です。黒帯を投げ飛ばす技の使い手もいます。日頃鍛錬した心技体の成長ぶりを披露し、卒業を前に連帯感を深めます。

2月 マラソン大会
高等科1年2年



3月 スキー教室(4泊5日)
高等科1年

北海道サホロリゾートスキー場に4泊し、各自のレベルに合わせてスキーを徹底的に練習します。札幌での自由行動の時間もあります。

学校生活

課外活動 (運動部・文化部・同好会)

学習院には、幼稚園から大学まで一貫した輔仁会という組織があります。輔仁会は中等科支部組織と高等科支部組織に分かれ、いずれも生徒は希望に応じて運動部・文化部・同好会に所属し、活動しています。また、生徒会活動も、代表会(中等科)・代議会(高等科)を通じて活発に行われています。



中等科

【運動部】

剣道、硬式テニス、古武道、サッカー、柔道、水泳、卓球、バスケットボール、バレーボール、野球、ラグビー、陸上競技

【文化部】

囲碁将棋、演劇、音楽、写真、生物、地学、鉄道研究、美術、物理化学、歴史研究

【同好会】

アマチュア無線、弦楽、航空、釣

高等科

【運動部】

アーチェリー、剣道、硬式野球、ゴルフ、サッカー、山岳、柔道、水泳、スキー、漕艇、卓球、テニス、馬術、バスケットボール、バレーボール、ホッケー、ラグビー、陸上

【文化部】

演劇、化学、史学、写真、新聞、吹奏楽、生物、地学、美術、文芸

【同好会】

囲碁将棋、社会問題研究会、書道研究会、地理研究会、鉄道研究会、フォークソング



近年の主な実績

【中等科】

卓球部	東京都私立大会準優勝(2013) 東京都大会出場(2009~2016) 東京都大会ベスト8(2011)
水泳部	東京都大会5位(2016・自由形リレー)
バスケットボール部	東京都私立大会3位(2013)
野球部	東京都私立大会優勝(2009・2012) 東京都大会ベスト16(2011) 第三支部大会優勝(2017・2019) 私立リーグ大会優勝(2019)
陸上競技部	全国大会出場(2008・2016・2019) 関東大会出場(2006~2010・2016) 東京都私立大会準優勝(2014・2016)・3位(2017) 東京都大会・入賞(2001~2016, 2021)・優勝(2016)・準優勝(2020)
硬式テニス部	全国大会出場(2005・団体 2018・団体) ブロック大会優勝(2014・2016・2019) 関東大会出場(2003~2005・2007・2008・2018~2020)
ラグビー部	東京都大会1部入賞 関東大会出場(2016)
バレーボール部	東京都大会出場(2009~2011)
サッカー部	東京都大会ベスト16(2009) 私学関東大会出場(2009・2012) 東京都大会出場(2012・2013, 2021) 東京都私立大会準優勝(2012)
剣道部	東京都大会出場(2005~2008・2010~2016・2019, 2021) ブロック大会優勝(2006)
音楽部	東京都高等学校吹奏楽コンクール B編成の部 金賞(2010・2015)・銀賞(2017)・銅賞(2021)
写真部	東京私立中学高校協会写真展 会長賞(2012) タムロン鉄道風景コンテスト 佳作(2012) 私学展 入賞(2014)
美術部	私立中学高等学校生徒写真・美術展 特選(2014)
囲碁将棋部	関東中学校囲碁選手権団体対戦 選手権戦7位(2016) Aクラス優勝(2009・2010・2012)・5位(2015・2017)・6位(2014) 文部科学大臣杯中学校囲碁団体戦全国大会出場(2018)

【高等科】

アーチェリー部	全国大会出場(2011・2013) 関東大会出場(2009~2013・2016) 関東大会5位(2015) 関東選抜大会 個人出場(2021)その他の年度にも複数出場経験あり
硬式野球部	全国高等学校野球選手権大会東東京大会 ベスト16(2015) 春季東京都高等学校野球大会出場(2018) 秋季東京都高等学校野球大会出場(2017・2019) 全国大会出場経験あり
ゴルフ部	関東大会出場(2007~2009・2012・2018) 関東大会東京都予選出場(2017・2020) 全国総体東京都予選東京都大会出場(2017・2019) 全国高校サッカー選手権大会東京都二次予選出場(2016 Aブロックベスト8・2017・2019) 全国大会出場(2011)
スキー部	関東大会出場(2008・2010・2011・2013・2014・2019・2020・2021) インターハイ出場(2014・2021) 選抜スキー大会出場(2014) 団体出場(2014)
漕艇部	全国大会出場経験あり 関東選抜大会出場(準決勝進出)(2019) 東日本夏季競漕大会優勝(2021)
テニス部	東京都私立中学高等学校テニス大会5位(2017・2019)・3位(2021) 東京都大会団体戦(秋)10位(2018) 東京都大会新人戦個人8位(2018・2021) 全国私学テニス選手権出場 全国私学大会東京予選6位 全国大会出場経験あり
馬術部	団体(個人)出場経験あり 関東大会(個人)5位(2014)・準優勝(2015)・第3位(2016) 関東高等学校自馬競技大会(個人)部班馬術競技6位入賞・小障害飛越競技5位・6位入賞
ホッケー部	全国総体出場 ベスト16(2017) 関東大会出場経験あり 全国総体出場(2017・2021)同ベスト16(2017)
陸上競技部	東京都大会出場 4×100mR(2017) 全国高校総体(三重)出場 走高跳(2018) 東京都新人大会出場 砲丸投(2019) 東京私立中学高等学校生徒美術展入選(2019) 東京私立高等学校生徒美術展奨励賞(2021)
美術部	東京都高等学校吹奏楽コンクール B編成の部 金賞(2010・2015)・銀賞(2014・2017)
吹奏楽部	全国書道展 心正堂賞(2013) 全日本書初め大展覧会 日本武道館賞(2012・2013) 高円宮杯 大会激励賞(2013) 第55回記念高野山競書大会 弘法大師賞(2021)
書道研究会	東京都囲碁将棋大会 16位(2015・2016)
囲碁将棋同好会	

生徒の声

中等科3年
主将会
乃木 優太



現在、学習院中等科では22の部と、4つの同好会が活動しています。最大週4日の活動で、運動部は対抗戦での勝利、区大会、都大会での好成績を目指し、文化部や同好会はコンクールや秋に行われる鳳樓祭(文化祭)での展示に向けて、日々活動に励んでいます。運動部は2か所のグラウンド(人工芝、土)、2つの体育館、温水プール、野球場、テニスコート、武道場など充実した運動施設で、質の高い練習をすることができます。また、運動部と文化部の兼部をしている人も多くいます。私も水泳部と美術部に所属しています。

さらに、学校以外でクラブチームに所属している人は、部によって顧問と相談した上で無理のない範囲で部活動をする事も可能です。

文化部は基本的に鳳樓祭に向けて制作や練習、研究などの活動をしています。コロナ禍以降はあまり行われていませんが、課外活動を積極的に行う部活もあり、運動部とは違った形の楽しさを味わえるところが特徴です。

運動部、文化部ともに目標を持って一緒に活動をしていくことで友達との信頼関係が生まれます。お互いの良い部分を認め合える仲間となっていくところが、部活動をする素晴らしいさだと思います。

ぜひ、中等科の部活動で素晴らしい仲間と思い出を作り、楽しい学校生活を送ってみませんか？

生徒の声

高等科3年
ホッケー部主将
福原 幹大



高等科ホッケー部主将の福原です。ホッケー部は都大会優勝とその先の関東大会、全国大会への進出を目標に週5日、27名の部員で活動を行っています。主な活動場所は第2グラウンドですが、校外で活動する機会も多くあり、高校生活の思い出として残る貴重な経験を積むことができます。

ホッケーはあまりメジャーなスポーツではないため、ほとんどの生徒が高校からホッケーを始めます。同時期に始めた友人と共に切磋琢磨し、成長できるという点はホッケー部ならではの強みです。他にもホッケーは公式ルールで選手間の接触が制限されているため、他のスポーツよりも体格の差が出づらいという点も魅力の1つだと思います。

一緒にホッケーをすることができる日を楽しみに待っています！

国際交流

中等科ではニュージーランド短期研修、高等科では協定留学制度と公認留学制度を設けるなど、海外で学びたいと希望する生徒を支援しています。また国際交流を支援する団体の要請によって、毎年3名程度の外国人留学生を高等科が受け入れています。留学生向けの特別授業のほか一般の授業、行事にも参加し、日本語や日本文化を学び、また高等科生とともに学校生活を楽しくしています。



協定留学*

米国メリーランド州ボルチモアにある私立学校St. Paul's Schoolとの留学協定を結んでいます。高等科からSt. Paul's Schoolへは最大2名が1年間派遣されます。またSt. Paul's Schoolから高等科へは、2名が4カ月滞在しています。

公認留学*

所定の申請に基づいて外国の高等学校へ原則1年間留学する制度です。留学の成果が認定されれば、留学の単位として30単位を与えて留学期間の学年を修了したものとみなし、出国時の学年より一つ上の学年に編入が認められます。

*協定留学プログラムおよび公認留学については、下記ホームページを参照 <https://www.gakushuin.ac.jp/bsh/education/international/index.html>



St. Paul's School セント・ポール・スクール

アメリカ東部メリーランド州にあるセントポール校は通学制の私立学校で、その卒業生のほとんどが大学進学をめざしています。初等部が共学で、中等部、高等部は男女別の学校となります。800名の全学生のうち、約250名が高等部で学んでいます。学生数は1クラス18人以下で、教師1人当たりの生徒数は10人という少人数教育を実現させています。

セントポール校は1849年にボルチモアのセントポール教会の教区学校として設立され、現在はボルチモア郡郊外の、18世紀にブルッグランド・プランテーションがあった歴史ある場所にそびえています。修復された本部棟に加え、蔵書2万8千冊を抱える3つの図書館、3つの体育館、2つの芸術センターと新しく建築された礼拝堂があります。



学習院は、世界に羽ばたく生徒たちの未来を応援します

語学教育センターの特別プログラム

学習院では、女子大学の語学教育センターが中心になって、小・中・高・大学の垣根をはずし、レベル別・目的別の英語学習支援を行っています。

■英語力養成コース

通年で、「聴く・話す」力を伸ばします。留学準備コースやTOEIC・TOEFL対策コースも設置。

■イングリッシュ・セミナー

夏休み中の集中講座。12のレベル別のクラスが用意されています。

留学派遣生支援プログラム (中・高等科)

協定校St.Paul's Schoolから招聘した教員によるワークショップやアカデミッ

クススキル養成プログラムがあります。留学予定の生徒の留学準備を支援するとともに、留学から帰国した生徒のさらなるスキルアップを行っています。

帰国子弟入試 (中等科)

1980年度より、海外からの帰国者および帰国予定者を対象に一般の入試とは別の選考で帰国子弟入試を行っています。海外での貴重な体験を有し、特長のある生徒が毎年約15名入学しています。

ニュージーランド短期研修 (中等科)

中等科2年生の希望者を対象に、9泊10日の海外短期研修を行っています。ホームステイをしながら現地の中学校

で実際の授業を受けます。

プナハウススクール・サマープログラム (高等科)

3年ごとに開催されるハワイのプナハウススクール主催の国際交流プログラム(SGLI)。世界各国から集まった高校生達とグローバルな問題について議論を重ねます。通年で課題に取り組み、夏には高等科から選抜された3名の生徒が、約2週間に渡るプナハウススクールでの研修に参加します。

その他

国際交流を支援する団体が行う短期プログラムも紹介し、多くの高等科生が自主的に参加しています。

生徒の声

【公認留学】

高等科3年
アメリカに留学
(2019年8月～2020年3月)
矢尾板 哉仁



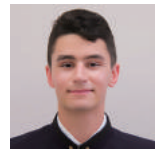
私は、セントポール校協定留学を通じてアメリカ合衆国メリーランド州ボルチモアに7か月間公認留学していました。私が留学していた最中の2019年3月に新型コロナウイルス感染拡大の影響で早期帰国を余儀なくされましたが、本来より短い留学の中であっても成長を感じています。それは、「自分の知らないことを新しく学ぶ面白さ」に気づいたということです。留学は、華やかなイメージとは裏腹に、言語も文化も何もかもが違うため、辛い時期は誰にでもあります。私の場合は、大変であった授業や日常生活に必死で食らいつき乗り越える過程の中で、知らなかった英単語やアメリカに関する知識など、新しいものが身につく感覚というのが非常に楽しく感じるようになりました。それ以降、授業はもちろんのこと、日常の些細な気づきなどの様々なことにも関心をもつようになり、帰国後の今に至ります。長期留学では、「未知の自分」に出会うことができるのです。

学習院高等科の大きな強みとして、毎年20名前後の生徒が留学に出発していることが挙げられます。留学先で十分な成果を得たと認められれば、留年することなく次の学年へ進学できる、という公認留学制度があるため、協定留学のみならず民間の斡旋団体を通じて多くの生徒が世界へと羽ばたいています。また、他国から日本に渡ってきた留学生数名の受け入れも行っているほか、イングリッシュ・セミナーや英語で行われるワークショップなど、様々な国際交流の場が学習院高等科にはあります。現在はコロナ禍の影響で留学への出発や留学生の受け入れが厳しい状況ではありますが、再びグローバル化する未来を信じて、世界へのステップを自分から一緒に踏み出していきましょう。

生徒の声

【留学生】

アメリカ出身
(2019年9月～2020年2月)
イトラデ・アレックス



私はアメリカのカリフォルニア州出身です。日本に留学することは昔からの夢でした。クラスの人は優しく、いつも話しかけてくれました。毎日学校に通うのを楽しみにしていました。もちろん楽しいことに溢れていた毎日だったのですが、一番楽しかったのは沖縄への修学旅行でした。日本なのにまるで海外に行っていたような感じでした。初めて印象に残ったのは透き通ったエメラルドグリーンの海でした。友達と海で泳いだり、バレーボールをやっていたときが、すごく幸せでした。沖縄料理体験で頑張ってみんなと作ったもずく天ぷらはとても美味しかったです。そして何より興味を持ったのは沖縄のいろんな方言でした。本当に綺麗に聞こえました。時間があれば少し勉強してみたいと思ってます。修学旅行でみんなと仲良くなれて本当に良かったです。学習院で過ごした時間は一生忘れられないでしょう。

進学

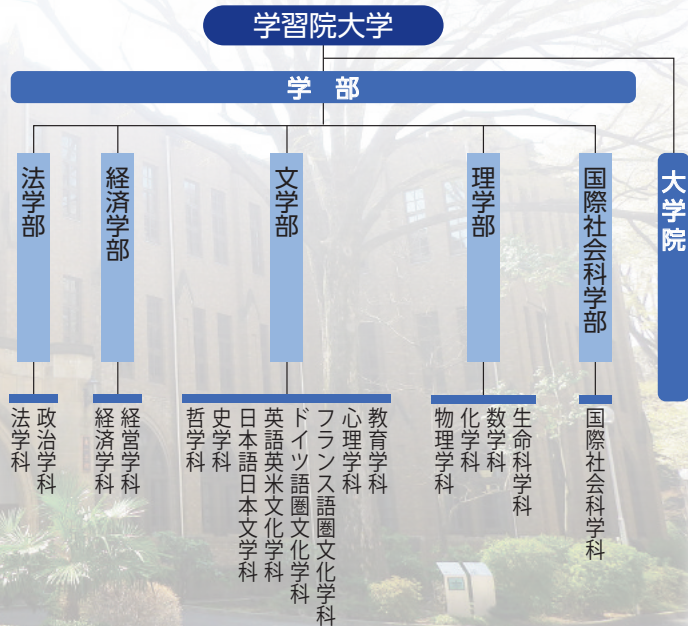
中等科・高等科の進学状況

進学においては、中等科・高等科ともに生徒が個性を伸ばし、目標とする進路に進めるように配慮しながら指導を行っています。基準を満たしたほとんどの中等科の卒業生は、高等科へ進学しています。高等科の卒業生は、学習院大学あるいは希望により他大学に進学します。学習院大へ進学した場合、ほぼすべての生徒に対して希望する学部・学科への道が拓かれています。

学習院大学

自ら学びとる意思と力をはぐむ、5学部17学科

学習院大学は、4年間同じキャンパスに全学部全学科が設置されており、学年や学部により別々のキャンパスということはありません。各学部・学科とも、最先端の研究に携わり「その分野の第一人者」として社会から高い評価を得ている教員が行う、質の高い講義が展開されています。また、約7割の授業が1クラス40名以下の少人数制授業となっています。ゼミや演習なども多く、一人ひとりに目の行き届いた指導を受けることができます。



卒業生の声

学習院大学1年
文学部フランス語圏文化学科
佐々木 大樹



3年におよぶ高校生活はわたしにとって紛れもなく大きな財産となっています。そのことは、異なる価値観や認識が入り乱れながらも互いを否定することなく尊重しあう学習院高等科の開かれた校風と無関係ではありません。ここでは相手の存在を認め、共に信頼を築いてゆくことによって初めて実り豊かな時間が生まれます。

じっさい学習院で出会った魅力溢れるクラスメイトの言葉や振る舞いに、わたしは絶えず心を揺さぶられ続けてきました。思いもかけぬ大胆さと繊細さを併せ持った友人たちの姿をみつめる時間はこの上なく刺激的で、退屈からは遠く隔たった「豊かな」それに他なりません。高等科でのそうした3年間を「驚きと発見」の連続として捉えることも可能でしょう。それは未知のことからに対してそのつど深く驚くことが可能となるような知性と感性をよりいっそう鋭敏なかたちで獲得してゆく1つの成長を意味します。これは現在においてあまりに得難く貴重な経験であり、学習院高等科だからこそそのものではないでしょうか。

ぜひ、ご入学を。そしてあなただけの3年間を。

卒業生の声

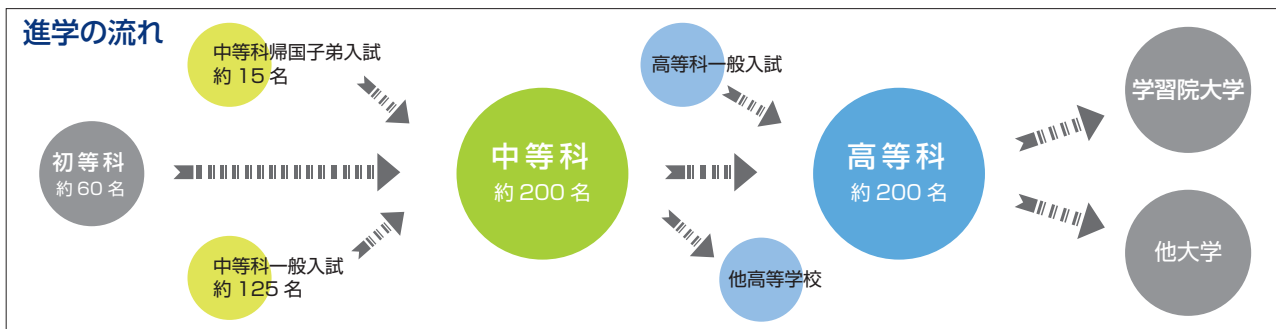
慶應義塾大学1年
法学部政治学科
末原 立貴



私は3年間の高等科生活を振り返って、それが充実したものであったと自信をもって言えます。それは必ずしも私が2年間総務委員長として仕事をしてきたからとか、鳳樓祭で女装をして踊り狂ったからではありません。もちろん、このような特殊な経験に自主的に挑戦したことは、間違いなく私の人生を彩りあるものとしましたが、私がここで強調したいのはそこではないのです。

私の充実した高等科生活において欠くことのできなかったものは、豊かな人間関係であると思います。学習院高等科で私は多くの友を得ることができました。彼らは全員がとても個性的で、その中からたった一人取り上げて書くだけでもこの紙面ではとても足りるものではありません。彼らとの出会い、そして親交なくして私の楽しい高等科生活はありえなかったでしょう。

学習院高等科には多様な人間がいます。そしてそれらを許容しようとする寛容さがあります。このような環境の中でこそ、私の人間関係は濃厚なものとなり、それによって高等科生活は素晴らしいものとなりました。学習院高等科がその長い歴史の中で培ってきたこのおおらかさは、現代において得難い宝です。それがこの先もずっと失われずに持続していくことを願っています。



2022年 学習院大学推薦 (実数)

学部	学科	人数
法学部	政治学科	29
	法学科	12
経済学部	経営学科	11
	経済学科	21
国際社会科学部	国際社会科学科	22
文学部	哲学科	1
	史学科	1
	日本語日文学科	3
	英語英米文化学科	1
	フランス語圏文化学科	1
	心理学科	5
	教育学科	2
理学部	物理学科	2
	化学科	1
	数学科	3
	生命科学科	3
合計		118

2022年 指定校推薦枠による進学 (実数)

大学	学部	人数
慶應義塾大学	理工	3
	商	2
	法	1
上智大学	法	2
	総合グローバル	1
早稲田大学	基幹理工	1
	先進理工	1
	創造理工	1
中央大学	法	2
北里大学	医	1
日本歯科大学	歯	1
合計		16

※指定校推薦枠があっても進学する生徒がいなかった大学・学部名は記載していません。

2022年 国公立大学合格実績 ※推薦含む

国公立大学 (総人数)	学部	現役	浪人
東京大学 (3)	理科一類	0	1
	理科二類	0	1
	文科一類	1	0
横浜国立大学 (2)	理工	2	0
大阪大学 (1)	外国語	1	0
神戸大学 (1)	経済	1	0
筑波大学 (1)	人文・文化学群	1	0
東京医科歯科大学 (1)	医	1	0
東京外国語大学 (1)	言語文化	1	0
東京工業大学 (1)	理学院	0	1

2022年 私立大学合格実績 ※推薦含む

私立大学 (総人数)	学部	現役	浪人	
慶應義塾大学 (27)	医	1	0	
	経済	4	1	
	商	4	1	
	文	2	1	
	法	6	0	
	理工	4	1	
	総合政策	2	0	
	早稲田大学 (18)	基幹理工	2	2
		教育	1	0
		国際教養	1	0
商		1	1	
政治経済		1	0	
先進理工		1	0	
創造理工		1	0	
文		1	0	
文化構想		1	1	
法		2	0	
人間科学	2	0		
東京理科大学 (12)	工	2	0	
	理	4	0	
	理工	5	0	
	先進工	1	0	
上智大学 (11)	文	2	0	
	法	3	1	
	理工	1	0	
中央大学 (8)	総合グローバル	3	1	
	商	1	1	
	法	2	2	
明治大学 (6)	理工	2	0	
	経営	1	0	
	商	1	0	
	政治経済	0	1	
	文	2	0	
	法	1	0	
立教大学 (6)	経営	2	0	
	経済	1	0	
	法	1	1	
	異文化コミュニケーション	1	0	
日本大学 (5)	医	0	2	
	経済	1	0	
	理工	1	0	
松戸歯	1	0		
青山学院大学 (4)	経済	2	0	
	理工	1	0	
	教育人間科	1	0	
	法政大学 (4)	法	1	0
理工		1	0	
デザイン工		1	0	
社会学部		1	0	
学習院大学 (3)	経済	1	0	
	文	1	0	
	理	1	0	
北里大学 (3)	医	1	2	
杏林大学 (3)	医	0	3	
昭和大学 (3)	医	1	2	
東邦大学 (3)	医	1	2	
駒沢大学 (2)	経済	1	0	
	法	1	0	
成城大学 (2)	法	1	0	
社会イノベーション	1	0		
多摩美術大学 (2)	美術	2	0	
日本医科大学 (2)	医	1	1	
岩手医科大学 (1)	医	0	1	
桜美林大学 (1)	ビジネスマネジメント	1	0	
神奈川歯科大学 (1)	歯	1	0	
國學院大学 (1)	経済	1	0	
国際医療福祉大学 (1)	医	0	1	
東京慈恵会医科大学 (1)	医	1	0	
順天堂大学 (1)	医	1	0	
聖マリアンナ医科大学 (1)	医	0	1	
拓殖大学 (1)	政治経済	1	0	
東京医科大学 (1)	医	0	1	
東京歯科大学 (1)	歯	0	1	
同志社大学 (1)	文	1	0	
桐朋学園大学 (1)	音楽	1	0	
東洋大学 (1)	経済	1	0	
日本歯科大学 (1)	歯	1	0	
星薬科大学 (1)	薬	1	0	
武蔵大学 (1)	国際教養	1	0	
武蔵野美術大学 (1)	造形	1	0	
立命館アジア太平洋大学 (1)	国際経営	1	0	
海外大学		現役		
Grinell College (グリネル大学)		1		

(2022. 4. 7現在)

連携・Q&A

生徒と教職員と家庭の連携／学習院 Q&A

多感な中・高6年間。常に生徒たちの心を育て、ケアをする体制が整っています。

主管室

クラス担任を「主管」と呼び、各学年のホームルーム教室のすぐそばに学年の主管の部屋「主管室」があります。ここが学年ごとの教員室となります。大教員室とは別に、各階に分かれる学年ごとの主管室を設置することにより、きめ細かくすばやい生徒への対応を可能にしています。

たとえば、いじめというような陰湿な行為が起きたとしましょう。その場合でも、早期に発見し、主管を中心にして、他の教員も一緒になって解決法を考えることができます。

各学年の主管は、自分のクラスだけを担当するのではなく、学年の主管がチームとなって学年全体を担当する体制をとっています。普段の学校生活における人間関係や学業、進路などの相談に乗り、生徒一人ひとりの個性を尊重した指導をしています。



▲放課後の主管室の様子





カウンセリングルーム

学習院中等科・高等科では2000年度にカウンセリングルームが設置されました。臨床心理士の資格を有するカウンセラーが生徒や保護者の相談にあたっています。

場所は校舎1階の保健室の隣室です。出入り口を2つ設けるなどの工夫を凝らし、利用される方のプライバシーには十分配慮しています。カウンセリングの予約は保健室で受けています。

カウンセリングルームでの基本的な対応は、カウンセラーと利用される方との個別面接ですが、必要に応じて利用される方の了解を得たうえで教職員や学外の専門医療機関との連携をとって対応しています。

父母会

各学年の初めに、各クラスから三名の幹事を選出します。クラス幹事は、クラス懇親会を企画したり、父母から出された様々な問題を主管と話し合うなど、学校と家庭とのパイプ役を担っています。

学校生活や行事について、学校からの連絡を伝える学年の父母会が各学期にあります。

また、主管と日常生活や学業などについて話し合う父母個人面談が、年に2回あります。



▲学年父母会の様子
(501・502 教室)



学習院 Q&A

学校説明会や父母面談などの場で、ご父母のみなさまから質問されることが多々あります。ここでは、その中から代表的な質問・疑問にお答えします。

Q 学習院初等科出身者と中等科入学者との人間関係は？ 保護者の場合は？

A 中等科に入学してから初等科出身者とうまくやっていけるかという不安を持つようですが、「その心配は全くなかった」というのが聞いた限りの在校生すべての答えでした。教員も全く区別を意識したことはありません。むしろ初等科出身者は6年間付き合ってきた友達にさらに新しい友達ができることを楽しみにしているようです。クラブ活動、宿泊行事などを通してすぐに親しくなっていくのが子供のようです。

保護者同士の場合は「入学前の心配がうそのようだった」というのが結論でした。「父母懇親会、試合の応援などを通して仲良くなり、学習院の情報をいろいろと得られる」また、初等科出身の保護者にとっては「受験経験の話がとても参考になる」ということでした。

Q 公認留学制度について教えてください

A 公認留学とは、所定の申請に基づいて外国の高等学校へ原則1年間留学する制度です。留学の成果が十分に上がったと認定されれば、留学の単位として30単位を与えて留学期間の学年を修了したものとみなし、出国時の学年より一つ上の学年に編入が認め

られます。また、留学支援団体の要請によって、毎年3～4名の外国人留学生を高等科が受け入れています。留学生向けの特別授業のほか一般の授業、行事にも参加し、日本語や日本文化を学び、また高等科生とともに学校生活を楽んでいます。

Q 公表された納付金以外に必要な費用が多くかかりますか？

A クラブ活動費（合宿参加費用など）が、また中等科では希望者参加の「臨海学校」、「スキー学校」「東北自然体験」「ニュージーランド研修」の費用が、それぞれ参加される場合にのみ追加されると考えてください。全員参加の行事費用などは全て納付金に含まれています。

Q 生徒の通学圏について教えてください

A 都内はもちろん神奈川県、千葉県、埼玉県などの隣接する諸県から通学する生徒も多くいます。時には宇都宮や小田原から通う生徒もありますが、通学に要する時間はだいたい片道1時間程度の人が多いようです。

Q 不登校はありますか？ また、その場合はどのように対応をとっていますか？

A 不登校は残念ながら皆無というわけではありません。一人一人が異なった問題を抱え、同じ理由によるものではありません。しかし保護者の方とも十分話し合い、カウンセラーにも適切なアドバイスをおおきながら、その生徒にとって最善の道を教員全員で考える体制をとっています。

INFORMATION 2023年度

2023年度学校説明会など／中等科・高等科のホームページ

中等科

- **学校説明会①**（一般／創立百周年記念会館）
2022年6月18日(土) 14:00～
※説明会後に校内見学ができます。
- **学校説明会②**（一般、帰国子弟／創立百周年記念会館）
2022年7月9日(土) 一般 14:00～ 帰国 14:40～
※説明会前にクラブ体験会があります。 ※説明会後に校内見学はできません。
- **学校説明会③**（一般、帰国子弟／創立百周年記念会館）
2022年9月18日(日) 一般 14:00～ 帰国 14:40～
※説明会後に校内見学ができます。
- **入試説明会**（一般／創立百周年記念会館）
2022年11月19日(土) 14:00～
※説明会後に校内見学ができます。 ※帰国子弟向けの説明会はありません。
- ❖ **帰国子弟入学試験**
2022年12月4日(日)
- ❖ **一般入学試験**
第1回 2023年2月2日(木) 第2回 2月3日(金)

高等科

- **学校説明会**
2022年10月8日(土) 14:00～
※詳細は高等科ホームページでご案内いたします。 ※学校見学も行います。
- ❖ **一般入学試験**
2023年2月14日(火)

公開行事

- **中等科クラブ体験会**（中・高等科校舎、体育館、グラウンドなど）
2022年7月9日(土) 10:00～
※予約が必要です。中等科ホームページから申し込み手続きをしてください。
- **中等科運動会**（中・高等科第1グラウンド）
2022年9月24日(土) 雨天時は9月25日(日)に延期
- **中・高等科鳳櫻祭(文化祭)**（中・高等科校舎、体育館など）
2022年10月29日(土)、10月30日(日)
※入試個別説明コーナーがあります。

説明会・公開行事などの日程は変更になる場合があります。
Webでの参加予約が必要でず。ホームページにて最新の情報をご確認ください。

学習院 中等科・高等科のホームページ <https://www.gakushuin.ac.jp>

学習院中等科・高等科の教育内容については、学校法人・学習院のホームページからご覧になれます。掲載しきれなかった Q&A コーナーをはじめ、多彩なコーナーを設けてありますのでご参照ください。

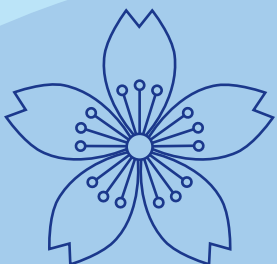
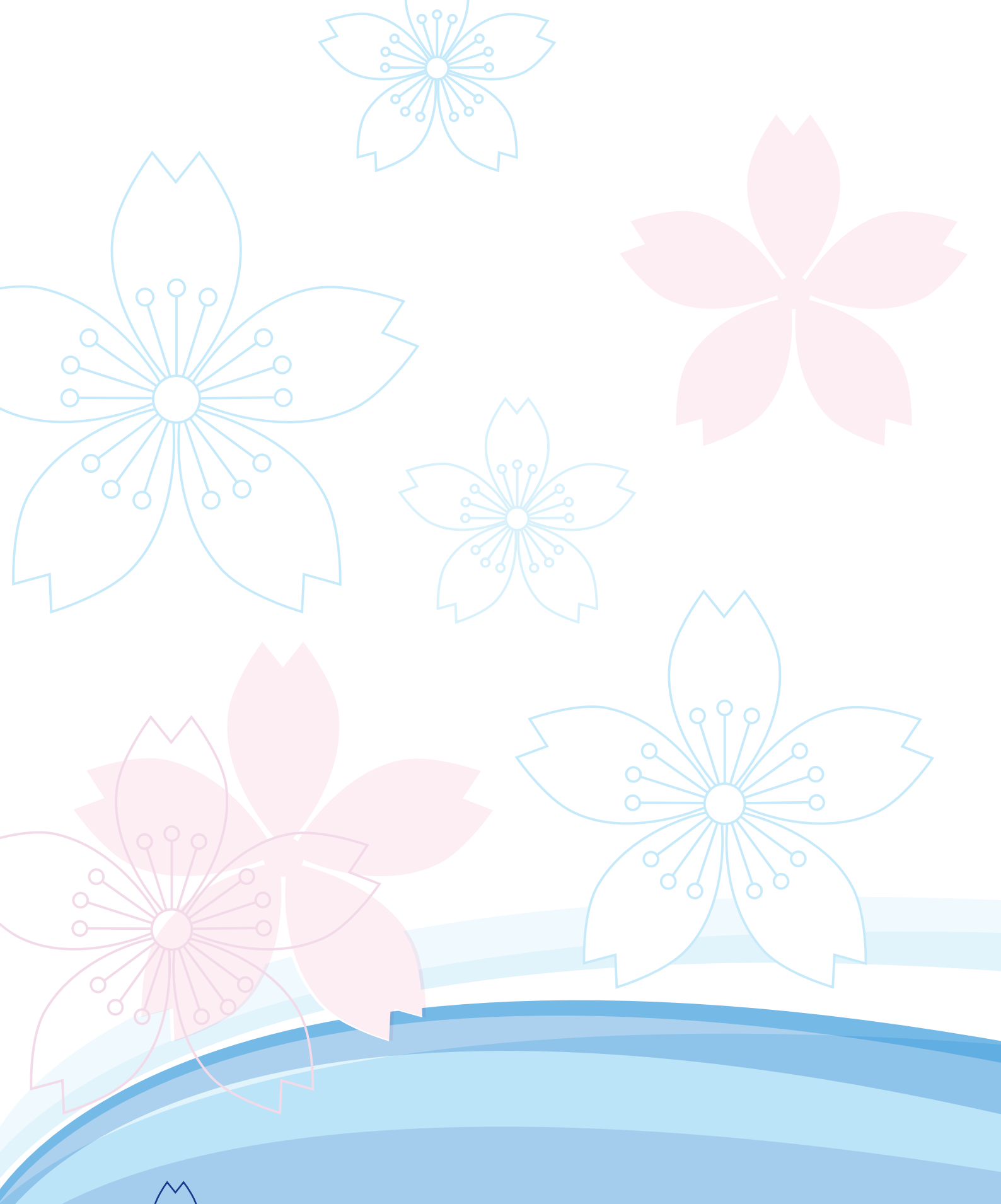


中等科 HP ▶



高等科 HP ▶





学習院 中等科
高等科

〒171-0031 東京都豊島区目白 1-5-1
TEL 03 (5992) 1032
<https://www.gakushuin.ac.jp/>